

第66回 社団法人日本脳神経外科学会総会 イブニングセミナー (ES08)

# 脳血流 SPECT の 基礎と臨床

トレーサーの基礎から血管障害および認知症での有用性

2007年 10月3日 水 16:45~18:15

会場 ▶ グランドプリンスホテル新高輪  
(旧：新高輪プリンスホテル) J会場

座長

小笠原 邦昭 先生

岩手医科大学 脳神経外科 准教授

講演 トレーサー動態の基礎

1

伊藤 浩 先生

放射線医学総合研究所 分子イメージング研究センター  
分子神経イメージング研究グループ 脳病態研究チーム チームリーダー

講演 閉塞性脳血管障害の診断におけるSPECTの役割

2

黒田 敏 先生

北海道大学大学院医学研究科 神経外科学分野 講師

講演 血管性認知症診断におけるSPECTの役割

3

北村 伸 先生

日本医科大学武蔵小杉病院 内科 准教授

# 脳血流SPECTの基礎と臨床 トレーサの基礎から血管障害および認知症での有用性

核医学は脳血流や代謝などの生理・生化学的な情報が定量的に得られることが特徴であり、特に血管障害においては定量的評価が重要な意味を持つことが多い。また、最近の画像解析技術の進歩と普及は目覚しく、MRなどの形態画像との癒合画像や解剖学的標準化により画素単位で脳機能を評価する統計画像解析が日常診療のレベルで広く行われるようになり、脳血流などの核医学データがより有効に活用されるようになった。このセミナーは、核医学による脳機能測定の原理について理解を深めるとともに、核医学を臨床利用する上で有意義なものになると考えます。

日本脳神経核医学研究会 運営委員長

**桑原 康雄**

About JCNN

## 日本脳神経核医学研究会について

日本脳神経核医学研究会は、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的としています。

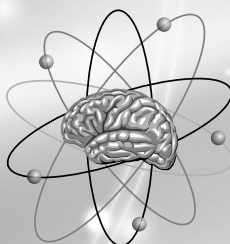
脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科などで実際の診療に携わる臨床医、装置や医薬品の開発を行う物理工学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、脳核医学に関する多くの課題について議論する場を設定して、検査法の確立、臨床使用のためのガイドラインの作成、国際的な枠組みの中で情報交換などを行っていきます。

研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。この趣旨にご賛同いただき、脳核医学の発展のために、是非本研究会にご参加下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。  
<http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

### 日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F  
日本コンベンションサービス株式会社内  
E-mail: infojcnn@convention.co.jp  
Tel: 03-3508-1214 Fax: 03-3508-1302



JCNN